

第2期

子育て応援宣言！

こまえ

子ども
・
若者

応援プラン

ガイドブック



狛江市

ゆるくつながり、地域が 子どもと若者を支えるまち・狛江

「第2期 こまえ子ども・若者応援プラン」は、市民のみなさんと狛江市が力を合わせ、4つの基本的な視点を持ちながら「ゆるくつながり、地域が子どもと若者を支えるまち」の実現を目指しています。このガイドブックでは、その視点と目標を紹介し、またそれを実現するために市民のみなさんが実施している活動をご紹介します。

視点1

すべての子どもや家庭の
幸せと利益を
最大限に尊重します

視点2

子どもや若者と
その家庭に寄り添い、
切れ目のない支援を行います



視点3

子どもや若者が個性を伸ばし、
のびのびと過ごせる環境を
整備します

視点4

子育てを通じて、
いろいろな人がつながる
地域をつくります

ゆるくつながるとは……

顔の見える関係を大切にしながら、
相手に寄り添うように、おだやかに、
ゆるやかに、そして分けへだてなく、
人と人との関係がつけられていくこと

すべての子ども・若者が 健やかに成長できる環境づくり

子ども・若者の育ちを見守り、サポートします
ありのままでいきいきと毎日を過ごせるように

子どもを取り巻く環境が大きく変わりつつある時代。すべての子ども・若者が健やかに成長し、ありのままにいきいきと毎日を過ごせるような環境をどうすれば確保できるかを考えます。一人ひとりの子ども・若者の成長や発達、家庭の状況に応じて、その時々に必要なサポートも整えます。

また、子どもたちがさまざまな遊びや体験を通して発達し、成長し、学ぶことができる環境を目指します。狛江市には、学校以外にも、いろいろな年齢のいろいろな友だちと遊ぶ場や学ぶ場があります。仲間と互いに教え合い、助け合いながら、違いを強みに変えてグングン育つ場です。

自由にのびのび外遊び。やりたいことにどんどんチャレンジ!

狛江プレーパーク



木登り、どろんこ、クギとカナヅチでトンテンカン。お兄ちゃんお姉ちゃんの遊び方に憧れて真似するのもいいね。なんでもトライしてみよう!

自然の中で五感を使い、昔のように思いきり遊べる場所。「やっちゃダメ」なことをなるべく減らし、子どもが「自分の責任で自由に遊ぶ」遊び場です。ワクワクする遊び場をつくるために「プレーワーカー」という大人のスタッフが常駐しています。乳幼児向けの「外遊び入門企画」なども定期的に開催。どろんこになるので、着替え、替えの靴、飲み物などを忘れずに!



- 所 西河原公園内 (元和泉 2-38-1)
- 日 毎週月～水曜日 第1・3・5日曜日と第2・4土曜日
※年末年始は休園あり
午前10時～午後5時 (雨天も開園)
- 関 NPO法人
こどもの遊びと育ちをささえる会・狛江
050-3707-2435 (上記開園時間中)



集中して友達と勉強できる場所。狛江に自習スペースをつくりたい!

学習フリースペース



定期テスト期間以外にも2カ所で開催中。パルシステム東京 狛江センター/毎週火曜日 午後4時~7時。狛江第二中学校 特別活動室/毎月第1・3金曜日 午後7時~9時。

「勉強したい子どもたちを応援したい」という思いからスタート。定期テスト前に4カ所で開催しています。見守りのスタッフがいますが、自分のしたい勉強に集中して取り組みます。落ち着いて勉強できる環境です。

- 〔所〕 野川地域センター、岩戸地域センター、中央公民館、西河原公民館など
- 〔日〕 定期テスト直前の土曜日 午後1時~5時(予約不要)
- 〔対〕 小学生から高校生まで利用できます
- 〔問〕 こまえ学習サポートプロジェクト 住友 090-1259-0708

体を動かすことが楽しい! 未就学児向け運動療育教室

みんなで地球をけつとばせ!!



おにごっこをしたり、風船を投げたり、足で蹴ったり、やわらかいボールをキックしたり。親子で笑顔&汗だくに!



発達がゆっくりな子や、運動や集団活動が苦手な子を対象にした親子で楽しむ運動教室です。みんなで体を使っているいろいろな遊びをします。NPO 法人トラッソスのコーチが楽しく教えてくれます。純粋に「楽しい」と思える心を育てたい。楽しみながら体を動かせます。

- 〔所〕 狛江市民総合体育館第2体育室
- 〔日〕 月1回不定期
- 〔対〕 未就学児(3~6歳)
- 〔問〕 高齢障がい課 障がい者支援係 03-3430-1111

ひきこもりなど、生きづらさを抱えている子を持つ家族の場

ひきこもり家族 cafe (仮)

不登校やひきこもりなどの家族会です。悩みや経験を語り合いながら、それぞれの気づきを得ることや、楽になることを目的としています。心理カウンセラーが対話の引き出し役として会を進行します。

- 〔所〕 あいとぴあセンターなど
- 〔日〕 月1回第4金曜日 午後2時~4時
- 〔対〕 家族・親族にひきこもりの方がいらっしゃる方
- 〔問〕 社会福祉協議会 03-3488-0313

基本目標 2

すべての親が安心して 子どもを産み育てられる環境づくり



こころにゆとりを持てるよう家族に寄り添いサポートします
希望を持って子育てができる街になるように

狛江市では、だれもが安心して子どもを産み育て、子育て家族が孤立しない環境を実現することを目標としています。子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場づくり、孤独な子育てにしないサポート、子育て家族同士の交流などを進めます。男女ともに子育てに向き合えるよう、意識の

変革やワーク・ライフ・バランスの実現も必要です。市内には、「こんなふう子育てしたい!」という市民のみなさんの暮らしから生まれたアイデアや、小さな集まりから動き出した活動もたくさんあります。すべての養育者が時間やこころにゆとりを持って子育てできるような環境に。

狛江市で子育て中のママ・パパがつくる子育て情報サイト

こまえ スマイルぴーれ

子育てに役立つさまざまな情報の取材記事や体験記事を定期的に更新しています。ハロウィンパーティーには毎年たくさんの親子が参加。市役所前広場や市内をパレードしてお菓子などをもらいます。



子育て中のママやパパ、そして、「子育てを応援したい!」という市民ボランティアのみなさんが、狛江市の施設やイベントを取材。子育て中のリアルな視点で情報を発信している子育て情報サイトです。マタニティ服と子ども服の無料交換会「xChange *ぴーれ」や、「ハロウィンパーティー（ベビーの部、キッズの部）」も主催しています。

☎ 子ども政策課 企画支援係
03-3430-1111

「今月のママパパぴーれ」に掲載する「写真」の投稿や、サポーターを募集しています。詳しくはホームページにて。→



たたみのお部屋や縁側、季節を感じるお庭でのんびり交流できる！

古民家園で遊ぼう



よちよち歩けるようになったらお外が人気。毎回、自然のものや昔の道具を使ったいろいろな遊びも用意しています。室内は雨でもたっぴり遊べます。



のどかな古民家に親子で遊びに来ませんか？ 江戸時代の古民家、昔懐かしい縁側やたたみのお部屋で楽しく遊びながら交流できます。園庭は自然がいっぱい！ 授乳やおむつ交換のスペースもあり、子育ての専門スタッフが交流のお手伝いをしています。雨天実施、出入りも自由です。基本的には月に2回の定期開催ですが、広報こまえなどで開催日時をご確認ください。

- 所 むいから民家園 (元和泉 2-15-5)
- 日 第1木曜日、第3土曜日
午前10時～11時30分
- 問 社会教育課 文化財担当
03-3430-1111

赤ちゃん和妈妈でホッとできる場所。パパもじいじもばあばもどうぞ！

赤ちゃん広場 あかちゃんのおわ



お昼ご飯を持参して一緒に食べたり、眠くなったらお昼寝したりしています。(写真は狛江ハイタウン2号棟1F「ギャラリーまつ」にて)

狛江で子育てしたママが、「こんなところがあっていいな」とはじめた場所。ここに来るとホッとひと息。悩みもちょっと軽くなりそう。やわらかい雰囲気に包まれてゆったり過ごせます。開催日時・場所など詳細はホームページにて。



- 問 子育ての輪 花岡
kosodatenowa.komae@gmail.com

狛江市の子育て応援サイト「狛江市の子育て情報」満載のサイトにアクセスしてみよう！

狛江市の子育て行政情報



子育てに便利なお出かけマップ



子育ての悩み相談 Q&A



地域で支える 地域がつながる環境づくり



いろいろな世代が集まって、できる人ができることを
お年寄りも昔は赤ちゃん。地域でつながり支え合いたい

赤ちゃんから若者、そして子育て中の人たちが、ゆとりを持って安心して暮らすためには、道路や公園などを整備して環境を整えることはもちろんのこと、地域の人たちのあたたかいまなざしがとても大切です。世代を超えてゆるくつながりながら、異なる世代や多様な人たちへの理解を深

め、支え合える居場所づくりを目指します。小さなころから見守ってくれる近所のおじいちゃん、おばあちゃん、一緒に遊んでくれたお隣のお兄ちゃん、お姉ちゃん。親には言えない悩みを相談できるおじさん、おばさん。そんなナナメの関係が増えていけば、暮らしはもっと豊かになりそうです。

子どもを囲んでみんなでワイワイ楽しいごはん! 地域の居場所

子ども食堂



家庭的な雰囲気の中、子どもは無料、大人は300円〜カンパで食事ができます。団体によって違うので確認を。食材はNPO法人フードバンク江江や農家からの提供も。(写真「子ども多摩里食堂」)



みんなで集まって、一緒にご飯を食べよう! ひとりでご飯を食べるより、いろんな人とワイワイ食べると美味しいね。休むヒマのない子育ての合間に保護者がちょっとひと息つける場所にもなっています。バランスの良い手作りの食事の前後は宿題をしたり遊んだり。近所のお年寄りやスタッフとのやりとりも楽しみのひとつです。市内では6つの団体が活動しています。詳しくはホームページにて。

問 子ども政策課
企画支援係
03-3430-1111



ふらっと気軽に立ち寄れる。なつかしい実家のようなおうち

よしこさん家(ち)



「姉が住んでいた隣家を、お世話になった地域の方々に使っていただけたら」という方の思いから、誰もが気軽に立ち寄れる居場所ができました。ママとパパと赤ちゃんのための「ゆったり絵本の会」、健康・介護相談などができる「ちょっと寄り道」、フリースペースとしての開放も。



ごく普通の一軒家。青いのぼりが目印です。6畳2間の昔ながらの空間を生かした居心地のよいスペース。開催日など詳細はホームページで確認を。

所 よしこさん家
(元和泉 3-10-4)
☎ 社会福祉協議会
03-3488-0313



ひとつ屋根の下、赤ちゃんからお年寄りまでごちゃまぜがいい!

野川のえんがわ こまち



1階には乳幼児が遊びやすい和室、お茶を飲んでくつろげるリビング、2階には漫画や本を読める小さな図書室もあります。2020年5月から本格オープン!

子育て中の二児のパパが、空き家になった祖父母宅を開放し、保育士、教員、ケアマネージャー、社会福祉士などの本業を持った仲間たちと立ち上げました。赤ちゃんから小中高生、お年寄りまで、障がいがあってもなくてもみんな一緒に居場所です。

所 西野川 2-31-1
☎ 毎週月・水・金曜日、
土日どちらか(週替わり)
午前10時～午後6時
(土日は午後4時まで)
☎ comarch 梶川 080-1210-4805
tomo_crossroad07@yahoo.co.jp

コミュニティソーシャルワーカー 福祉に関するご相談なら何でもお受けします!

どこに相談したらいいかわからない「地域の困りごと」や「地域のささえあいの仕組みづくり」など、コミュニティソーシャルワーカーがさまざまな相談についてお話をうかがい、いっしょに考えます。

☎ 社会福祉協議会 03-3488-0313 csw@welfare.komae.org

狛江市子育て・教育支援複合施設

2020年4月
open!

ひだまり センター



子育て・発達・教育

すべての支援がひとつになった。

ワンストップで切れ目のないサポートを!

地域の子育てを支え、子どもの育ちや発達、

学びを支援する拠点が完成しました!

狛江市子育て・教育支援複合施設

「ひだまりセンター」は、

赤ちゃんから幼稚園・保育園、学童期など

成長の変わり目に支援が途切れてしまわないよう

子どもや家族の居場所、交流・相談の場として、

安心して子育てができる環境づくりを目指します。

「きづく・よりそう・ささえる・つなぐ」

大切にしているのは、この4つの視点です。

ぜひ気軽に遊びに来てくださいね。

狛江市元和泉 1-11-11

(狛江駅徒歩5分)

開館日

月～金曜日

(1Fのみ土曜日も開所)

※祝日、年末年始を除く

開館時間

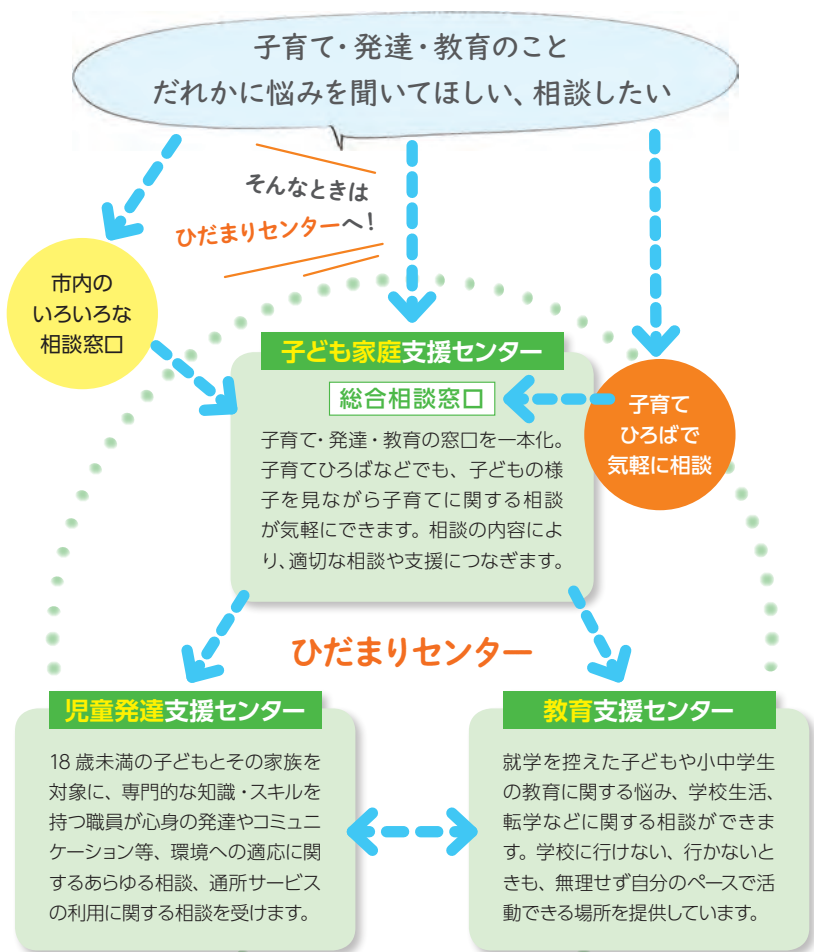
午前9時～午後6時

(1F子育てひろばは


午前10時～午後5時)



ひだまりセンターでは、子どもや子育てに関する どんな悩みも気軽に相談できます



ワンストップで必要な支援につながります！



子育てはお母さんだけ、親だけではできません。
たくさんの人に支えられて子どもたちは育ち、
子どもを支えるたくさん的人也、
子どもたちから力をもらえます。

市民のみなさんと狛江市が力を合わせ
「ゆるくつながり、地域が
子どもと若者を支えるまち」
を目指します。

第2期 こまえ子ども・若者応援プラン
ガイドブック

令和2年3月発行
発行 狛江市
編集 狛江市児童青少年部子育て支援課
狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03(3430)1111(代表)

この冊子は「こまえ子ども・若者応援
プラン」からその視点と目標を抜粋
して紹介したものです。ホームペ
ージで全文をご覧ください。

